

5 行動する人づくり

1 目標



【目指す都市の姿】

全ての人や事業者等が杜の都の環境を大切に、行動するまち

【定量目標】

○日常生活における環境配慮行動

日常生活における市民の環境配慮行動(25項目)について、全ての項目における実践割合を現在よりも向上させます

2 令和5年度の進捗状況

市民の環境への意識向上に向けては、日常的な周知啓発に加え、市民協働により総合的な環境教育・学習を推進する「杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)」の取り組みや、「せんだい環境学習館たまきさんサロン」における講座等の開催、せんだい環境Webサイトたまきさんやエコフェスタ等のイベントを通じた情報発信などに取り組んでいます。

引き続き、一層の環境配慮行動の推進に向けて、環境教育・学習の推進や情報発信等に努めます。

基準値となる平成30年度の「日常生活における市民の環境配慮行動」の実践割合については、以下のとおりであり、次回の調査は令和6年度に実施いたします。

項 目	実践割合※(%)	項 目	実践割合※(%)	項 目	実践割合※(%)
1. 電気や水、ガスなどの節約を心がける	90.1	10. 生ごみは十分に水切りをする	90.7	18. ウェブサイト等を利用して、ものを再利用する	16.6
2. 省エネ製品などを選んで購入する	76.6	11. 食品ロス削減に努める	90.4	19. 庭やベランダ等で、木や花、野菜を育てる	60.7
3. できるだけ自家用車の利用を控える	48.6	12. 紙類は分別して紙類定期回収等に出す	92.9	20. 公園や川、海や森などで自然に親しむ	55.2
4. エコドライブを心がける	58.9	13. プラスチック製容器包装や缶・びん等は分別して収集に出す	97.4	21. 地元産や旬の食材を選んで買う	77.2
5. 宅配便は再配達にならないよう気をつける	79.8	14. 小型家電は分別して回収ボックスに出す	67.5	22. エコラベルがついた商品などを選んで購入する	53.9
6. 車を買う際、環境にやさしいものを選ぶ	28.2	15. マイバッグ等を持参し、レジ袋を断る	91.2	23. ごみのポイ捨てをしない	92.5
7. 自宅に太陽光発電設備等を設置する	7.4	16. コンビニ等で割りばし等をもらわない	69.2	24. 環境に関する講座やイベントに参加する	10.8
8. 自宅の断熱性を高くする	36.6	17. リサイクルショップ等を利用して、ものを再利用する	36.1	25. 地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する	47.6
9. 再エネの比率が高い電力会社から電気を購入する	6.3				

※各項目について「常に行っている」または「できるだけ行っている」と回答する人の割合

定量目標	進捗状況
○日常生活における環境配慮行動 日常生活における市民の環境配慮行動(25項目)について、全ての項目における実践割合を現在よりも向上させます 【基準値：前回調査結果(平成30年度)】	次回調査 令和6年度

3 主な施策の実施状況

(1) 環境教育・学習の推進

今日の環境問題は、身近なごみの問題から地球温暖化のような世界規模の問題まで幅広い分野にわたりますが、いずれも私たちの生活スタイルや社会の在り方と密接に関わっています。

これらの問題を解決し、大都市としてはまれに見る豊かな生態系を保全しつつ、持続可能な社会を構築するためには、「環境教育・学習」を広く普及・推進することによって、私たち一人ひとりが日常生活での意識と行動を環境への負荷の少ないものに変えていくことが大切です。

このような観点から、本市では環境保全の基本施策に環境教育・学習を位置付け、市民への環境情報の提供

や学習・交流の場となる「せんだい環境学習館たまきさんサロン」の運営、学校での環境教育の推進、仙台市環境保全基金(平成2年設置)の益金を活用した「杜の都の市民環境教育・学習推進会議」(愛称:FEEL Sendai)の運営と事業の支援など、関係団体等とも連携しながら様々な事業を展開してきました。

ア セんだい環境学習館たまきさんサロン

環境教育・学習についての情報の収集・提供や活動支援を行うことを目的とし、平成3年6月に市役所本庁舎1階市政情報センター内に「環境学習コーナー」を開設、平成16年2月に「環境交流サロン」として拡充しました。平成18年5月に環境局内に移転し、運営していましたが、環境学習施設としての機能の充実を図るため、平成28年4月に「せんだい環境学習館たまきさんサロン」(以下「たまきさんサロン」)として青葉山の東北大学大学院環境科学研究科本館1階にオープンしました。

「たまきさんサロン」では環境に関する多様なテーマの「サロン講座」を開催しているほか、親子向け講座や小学生の授業など子どもたちへの環境学習の場としての活用、環境関連図書の貸し出しを行っています。また、無料のセミナースペースもあり、勉強会や会議の開催など、市民の皆さまの環境活動の交流の場としてご利用いただけます。

「たまきさんサロン」の令和5年度の利用状況
利用者数:3,699人 図書等貸出数:1,380冊



▲たまきさんサロン



▲サロン講座

せんだい環境学習館たまきさんサロン

◆開館時間

(平日)10:00～20:30

(土日祝)10:00～17:00

(休館日)月曜(月曜が休日の場合、その翌日)、
休日の翌日、年末年始

◆場所

仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学大学院環境科学研究科本館1階

◆お問い合わせ

TEL/022-214-1233 FAX/022-393-5038

イ 杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)

環境に配慮する人を社会全体で育てていくための組織として、平成16年5月に「杜の都の市民環境教育・学習推進会議(愛称:FEEL Sendai)」を設立しました。

FEEL Sendaiは、市民・NPO・学校・事業者・行政などのあらゆる主体のパートナーシップを構築し、メンバーによる幅広いネットワークを活用しながら、学校教育や生涯学習も含めた環境教育・学習を包括的に推進しています。

(ア) 杜々かんきょうレスキュー隊事業

「杜々かんきょうレスキュー隊事業」は、本市の特色ある地域や市内の自然環境を、体験的な環境教育・学習のフィールドとして位置付け、それらを活用した環境学習プログラムを作成し、幼児、小・中学生や市民、教師に体験してもらう事業で、平成15年度から実施しています。

テーマを設定して新たな環境学習プログラムの企画、作成を環境NPO等に委託し、令和5年度には20のプログラムが実施可能となっています。また市内の小中学校や保育所・幼稚園等において環境学習プログラムの体験実践を行っており、令和5年度は延べ76回実施しました。



▲環境学習プログラム「太陽ってすごい
～地球温暖化について考えよう～」

(イ) [環境社会実験] 未来プロジェクトin 仙台

「[環境社会実験]未来プロジェクトin 仙台」は、持続可能な社会づくりに向け、環境に配慮した取り組みの拡大・定着を図る企画を市民団体等から募集し、公開プレゼンテーションを経て選定された企画を実施してもらうものです。

令和5年度は、多くの市民に波及効果のある取り組みを募集する「環境の樹部門」、環境活動のはじめの一步を支援する「環境の芽部門」の2部門での募集を行い、第1次・第2次審査を経て次の5企画が採用され、実施しました。

[環境の樹部門]

- ・「ホテル溢れる仙台市へ LIFE LIGHT LOVE Ver.2」
(東北学院中学校・高等学校 科学部生物班)
- ・「身近な梅田川の自然再生を目指して」
(特定非営利活動法人 水・環境ネット東北)

[環境の芽部門]

- ・「自然環境豊かな校内の池と庭から種多様性を学ぶ～校内の生物マップの作成と生物の行動調査にチャレンジ～」
(宮城県泉館山高等学校 総合科学部)
- ・「もったいないONE ACTION!～鉛筆やクレヨンから始めるアップサイクルとリユース活動～」
(幸せの町35)
- ・「都市型学校林 仙台三高「時習の森」から仙台市の森林環境を考えよう!」
(宮城県仙台第三高等学校 理数科部)



▲未来プロジェクトin仙台
「ホテルあふれる仙台市へ LIFE LIGHT LOVE Ver.2」

(ウ) 環境フォーラムせんだい

このフォーラムは、環境のために身近な生活の中でできることを学ぶイベントで、企画から運営までのすべてを市民やNPO等で組織される実行委員会が主体となって行っています。令和5年度は、「仙台防災未来フォーラム2024」内で開催し、4,100人が来場しました。



▲環境フォーラムせんだい2024

(エ) せんだい環境ユースカレッジ

18歳～30歳代の若い世代を対象に、環境に関する講義、環境NPO等での環境活動体験、「環境フォーラムせんだい」への参加という3つのプログラムを実施し、環境教育・学習に関わる人材を育成することを目的とした事業です。

ウ 学校における環境教育

環境問題は現代社会のライフスタイルと密接に関わっています。持続可能な社会を目指し、日頃から環境を意識した生活や責任ある行動をとれる児童生徒の育成が求められています。

そこで、学校教育では、次の目標を掲げ、環境教育を推進しています。

自然環境や資源の有限性等の中で、持続可能な社会を作るために、自ら学び行動する児童生徒の育成を目指す。

多くの学校が、「総合的な学習の時間」の授業や特別活動(児童会・生徒会活動)において、環境を題材にした学習や活動に取り組んでおり、特色ある学校づくりとともに、様々な環境教育が実践されています。

また、「杜の都環境プラン」に基づき、児童生徒が環境問題について理解し、主体的に環境保全に取り組む意識や態度を育てることをねらいとして、「杜の都のエコ・スクール活動」に全市立小・中学校で取り組んでいます。

令和5年度の全市立小・中学校の取り組みの様子は、仙台市教育委員会のホームページで紹介しています。

《小・中学校での環境教育の特色ある実践の例》

- ・米作り、野菜作り
- ・エコキャップ、アルミ缶回収、古紙回収と分別
- ・学校や地域の森を活用した体験学習
- ・児童会、生徒会活動による節電・節水の呼び掛け
- ・広瀬川や、七北田川などの自然観察や水質調査
- ・地域の落ち葉拾いや地域連携による清掃活動
- ・花を栽培して地域に提供する活動
- ・緑のカーテンづくり
- ・リサイクルプランターの活用
- ・給食残食ゼロウィークの実施
- ・せんだい環境学習館たまきさんサロンでの学習
- ・校庭に森を作る活動
- ・水や海の問題をテーマとしたSDGsに関する学習
- ・荒浜潮除須賀松の森での雑草取り
- ・ペットボトルイルミネーション制作

- ・学校屋上に設置した太陽光発電に関する取り組み
- ・堆肥「杜のめぐみ」の校内の花壇や畑で活用
- ・海浜植物の再生、保護活動
- ・杜々かんきょうレスキュー隊による体験授業
- ・コンポストで給食の残食から堆肥づくり
- ・エコアート、牛乳パック工作



▲太陽光発電に関する取り組み（袋原小）



▶ 杜の都のエコ・スクール
「杜の都のエコ・スクール活動」で検索

エ 生涯学習における環境教育

(ア) 科学館における取り組み

スリーエム仙台市科学館では、郷土の自然の大切さを知り、環境を保全することの重要性を学ぶことのできる科学館を目指し、生涯学習や学校教育において環境に関する指導や学習支援を行っています。

令和5年度は以下のような事業を実施し、延べ8,977人の市民が参加しました。

◆環境関係事業

- ・小学校を対象とした「環境学習の学校支援」(授業実践2校、道具等貸し出し3校、参加児童数208名)
- ・中学校生徒を対象とした「科学館学習」(地学、化学、生物分野で環境を扱っています。受講生徒数8,686名)
- ・市民を対象とした「自然観察会」(①台原森林公園の昆虫、参加数16名②茂庭の化石、焼河原の化石、参加数67名)



▲環境学習の学校支援

(イ) 市民センターにおける取り組み

地域の生涯学習の拠点として、市内60カ所に設置されている市民センターは、環境教育を進める上でも大きな役割を担っており、地域住民を対象に、環境問題に関する学習機会を提供する講座やイベントを開催しています。令和5年度は以下のような事業をはじめ、市民センター合計で30事業、178回の環境関係事業を実施し、延べ4,864人の市民が参加しました。

◆環境関係事業の例

- ・私にもできるSDGs(榴ヶ岡市民センター)
- ・落ち葉堆肥でエコタウン(中山市民センター)



▲台原森林公園をまるごと楽しもう
(旭ヶ丘市民センター)